

校長室の窓から～夢の扉第44号～vol. 94 R3. 2. 14 (月)

学年末考査が始まりました。

文責 学校長



～4日間受験ができるようにコロナの感染にも気をつけよう～

本日(2月14日)から学年末考査が始まりました、16日(水)の振休日を挟んで4日間の日程で行われます。1年間の総まとめのテストですので、最大限の努力の成果を発揮しましょう。またコロナ感染にも気をつけましょう。

1 国公立大学入試前期日程まで残り10日・・・我流に走らず先生方の指導を信じて

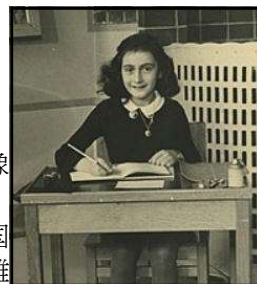
3年生は、私大入試もシーズンに入り、国公立大学を第一志望にする生徒の入試本番(個別大学入試・前期日程)まで残すところ10日となりました。3年生の最終授業日(2月10日)以降も、個別大学入試に向けての志望別授業は実施していますので、最後まで先生方の指導を信じて努力を続けてください。くれぐれも我流の学習に走らないように。また、1・2年生は本日から18日(金)まで学年末考査が続きます。結果は「努力したしこ」です。苦手な科目も投げやりにならず精一杯努力しましょう。「努力、努力、努力は奇蹟を生む。」勉強漬けの1週間にチャレンジ!!

2 少林寺拳法部が教育長表彰を受けました。

2月10日(木)に県庁で「令和3年度第2回教育長表彰式」が行われ、少林寺拳法部が九州高等学校少林寺拳法選抜大会での団体演武第1位を評価され、団体表彰されました。また個人として、女子規定組演武の部で第1位の瀬崎希さん(1-3)・中村優花さん(1-1)、男子規定組演武の部で第1位の草場奏太くん(1-4)・淀川政獅郎くん(1-5)、男子自由組演武の部で第1位の谷口雄一くん(2-2)・福島博人くん(1-6)がそれぞれ表彰されました。

3 今週の名言・・・アンネ・フランクの言葉です。

希望があるところに人生もある。希望が新しい勇気をもたらし、再び強い気持ちにしてくれる。



【解説】『アンネの日記』で有名なアンネ・フランクの言葉です。下記に示しているように我々の想像を超えた境遇の中での言葉だけにとてつもなく重みを感じる言葉です。詳細は以下のとおりです。

【アンネ・フランクについて】ドイツ国のフランクフルトに生まれたが、反ユダヤ主義を掲げる国家社会主義ドイツ労働者党(ナチス)の政権掌握後、迫害から逃れるため、一家で故国ドイツを離れてオランダのアムステルダムへ亡命した。しかし第二次世界大戦中、オランダがドイツ軍に占領されると、オランダでもユダヤ人狩りが行われ、1942年7月6日隠れ家での生活に入ることを余儀なくされた(フランク一家の他にヘルマン・ファン・ペルス一家やフリッツ・ブフェファールもこの隠れ家に入り、計8人のユダヤ人が隠れ家で暮らした)。ここでの生活は2年間に及び、その間、アンネは隠れ家でのことを日記に書き続けた。1944年8月4日にナチス親衛隊(SS)に隠れ家を発見され、全員が強制収容所へと移送された。アンネは姉のマルゴット・フランクとともにベルゲン・ベルゼン強制収容所へ移送された。同収容所の不衛生な環境に耐えぬくことはできず、チフスを罹患して15歳にしてその命を落とした。1945年3月上旬ごろのことと見られている。隠れ家には、アンネがオランダ語でつけていた日記が残されていた。父・オットーの会社の社員で隠れ家住人の生活を支援していたミープ・ヒースがこれを発見し、戦後まで保存した。8人の隠れ家住人の中でただ一人戦後まで生き延びたオットーはミープからこの日記を手渡された。オットーは娘・アンネの戦争と差別のない世界になってほしいという思いを全世界に伝えるため、日記の出版を決意した。この日記は60以上の言語に翻訳され、2,500万部を超える世界的ベストセラーになった。(参考:「Wikipedia」より)

4 今週の話事成語・・・「狡兎死して走狗烹らる」【問題】英語で表現すると?

必要なときは重宝がられるが、用がなくなればあっさり捨てられることのたとえ。

【由来】『史記・越世家』に「飛鳥尽きて良弓蔵められ、狡兎死して走狗烹らる(鳥がいなくなれば良い弓も捨てられ、兎が死ねば獵犬も煮て食われる)」とあるのに基づきます。「狡兎」とは、すばしっこい兎。「走狗」とは、獵犬のこと。兎を捕まえる獵犬も、兎が死んでいなくなれば用無しになり、煮て食われることから、価値があるときは大事にされ、なくなれば簡単に捨てられることから、敵国が滅びると、軍事に尽くした功臣であっても不要になって、殺される意味に用いられました。越王勾踐を助け、呉王夫差を破った范蠡は、自分が伍子胥の二の舞になると悟り、同僚だった大夫の種に手紙を送り、君も越にいては危険だから勾踐の元を去ったほうがよいと勧めた時に言った言葉からきています。

5 入試によく出る漢字(その19)・・・センターテスト(2000年度)の漢字に挑戦!

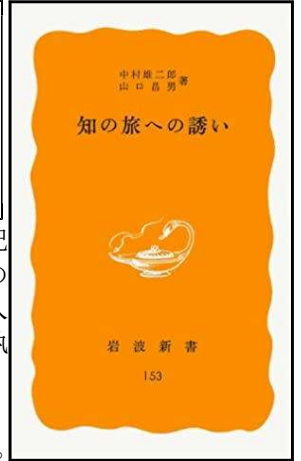
【問題】傍線部と同じ漢字を含むものを選びなさい。

- (1)ルネサンスの記譜法の発明にダンを発する。・・・〔①ダンテキな表現。 ②ダンネンに調べる。
③心身をダンレンする。 ④真理をダンキウする。 ⑤セイタン百年を祝う。〕
- (2)小説や論文をシッピツする。・・・〔①名誉をウシナう。 ②シメった空気。
③政務をトる。 ④ウルシ塗りの盆。 ⑤氷をムロから出す。〕
- (3)音響をバイカイとした口述的コミュニケーション。・・・〔①原野をカイコンする。 ②責任をカイ化する。
③病気がカイユする。 ④ユウカイ事件が起きる。 ⑤親身にカイゴする。〕
- (4)口述性の復権が最もケンチョに意識された時代。・・・〔①ケンアクな雰囲気だ。 ②ケンジツに生きる。
③ケンシンの的に仕える。 ④ケンビ鏡で見る。 ⑤費用をケンヤクする。〕
- (5)単なる否定ではない「近代」のチョウコクが達成できる。・・・〔①悩みはシンコクだ。 ②筆跡がコクジしている。
③コクメイな日記をつける。 ④裁判所にコクソする。 ⑤コクドを開発する。〕

6 今週の一冊・・・中村 雄二郎・山口 昌男の『知の旅への誘い』(岩波新書)です。

人はなぜ旅に出るのだろう。情性化された日常生活を変え、いきいきした生活を回復するためではないか。とすれば固定化した文化現象を根底的に乗り越える〈知〉の本来的なあり方は、まさに旅の過程そのものである。〈知の旅〉の達人である哲学者と文化人類学者が、世界を駆けめぐり時間をさかのぼって自らの旅のユニークな軌跡を語る。

(参考:本書裏表紙解説より)



【解説】高校の現代文の教科書にも採用されたことのある有名な一冊で、青年教師の頃読んだ記憶があり、約30年ぶりに読み直して紹介しようと探しましたが、古い書物のため、県内のどの書店にも図書館にもなく出版社にも在庫がなく、とうとう人生初のネット注文で中古本を手に入れました。前半を哲学者の中村雄二郎氏が、後半を文化人類学者の山口昌男氏が担当して執筆。2人の知の巨人による合作で、久しぶりに読んでもその難解さに知的好奇心が覚醒されます。冒険的な知の営みを「旅」に重ねて探るその試みは、まるで迷宮をさまようような旅でもあり、高校生には少々難解かも知れませんが、2人の知の巨人のいざなう知の旅に誘われてみませんか。

【作者・中村 雄二郎について】東京大学文学部卒業後、文化放送に入社。明治大学法学部教授を長く務めた。西洋哲学を基点に、日本文化・言語・科学・芸術などに目を向けた現代思想に関する著書が多数あり、主要著作は『中村雄二郎著作集』に収録。著書は国語の教科書や試験問題でも数多く取り上げられている。山口昌男と共に1970年代始めから雑誌『現代思想』などで活躍、84年から94年まで「へるめす」で磯崎新、大江健三郎、大岡信、武満徹、山口昌男とともに編集同人として活躍し、『かたちのオディッセイ』や『悪の哲学ノート』に結実した。

【作者・山口 昌男について】日本の教育者・文化人類学者。東京外国語大学名誉教授、文化功労者。麻布中学校教諭、イバダン大学講師、東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所教授、同大学アジア・アフリカ言語文化研究所所長、静岡県立大学国際関係学部教授、札幌大学文化学部教授、同大学文化学部学部長、同大学学長などを歴任した。

7 世界遺産を巡る・・・第44回はパリのセーヌ河岸です。

(登録:1991年)

【解説】「パリのセーヌ河岸」は、フランスの首都パリを流れるセーヌ川の川岸のうち、シュリー橋からイェナ橋までのおよそ8kmほどが登録対象となっている世界遺産です。ここには有名なエッフェル塔やノートルダム大聖堂なども含まれています。紀元前300年ごろ、セーヌ川を行くケルト人パリシイ族の舟人が、舟の形をしたシテ島を見つけ、上陸しました。これが、後に、「花の都」と呼ばれる国際都市、パリの歴史の始まりです。やがてシテ島には王宮や大聖堂が造られてパリの心臓部となり、周辺を取り巻くセーヌ川はその動脈としてパリの街を育む続けます。フランス革命の100周年を記念した1889年、パリで第4回万国博覧会が開かれました。その際建てられた電波塔兼展望台がエッフェル塔です。設計者は鉄骨の橋の専門家として知られる技師、ギュスタヴ・エッフェルで、彼の名にちなんでエッフェル塔という名前になりました。建設当時の高さは312.3mと、世界一高い建造物でした。ディズニー映画「ノートルダムの鐘」の舞台にもなった、シテ島内南東にそびえるノートルダム大聖堂は、パリの歴史と切り離しては語ることはできません。そもそも、大聖堂が建つ場所は、紀元前の昔から由緒正しい聖地でした。前300年にシテ島内に定住したケルト人のパリシイ族は、彼らの生活基盤である水上交易の基点として、川辺のこの場所に守護神の祭壇を建てました。(参考:「世界遺産人気ランキング」より)



8 街角グルメを訪ねて・・・第44回は山内町の「和彩 はな蓮」です。

まだまだコロナ禍が収まりませんので、今週も近場のお店を紹介します。山内の道の駅の近くにある海鮮料理の店『和彩 はな蓮』です。「玄界灘の荒波で育った海産物を取り揃えております。」とのこと。名物の海鮮丼「泰山丼」(1500円)や一日30名限定の人気メニューの「花かご昼膳」(日替わり1300円)がおすすめです。この日は人間ドックを受診するとついてくるお食事券の有効期限がきれそうになったので、お昼のランチで利用し、写真の「花かご御膳」・「うなぎのせいろ蒸し」・「大エビフライ」を家族で食しました。以前は呼子の「海舟」まで足を伸ばしていましたが、最近は不良続きのためお目当ての「イカの活き作り定食」が食べられないため、2年続きで「はな蓮」を利用しています。



9 保護者の皆様へ・・・受験先の天候情報・交通情報にもご注意を。

私立大学等の入試も佳境を迎えていますが、地域によっては大雪に見舞われ、飛行機や新幹線が欠航・運休になるケースも起きていますので、受験で移動される際は、天候情報・交通情報にも十分注意して余裕を持った受験スケジュールを調整してください。また、今後、国公立大学推薦入試や私立大学入試の合格発表が続々と届くことになります。合格通知を受け取ったら、次は大学等から届いた書類を確認し、締め切り日に間に合うように手続きをしてください。

【英語】◇ when the enemy is defeated, the victorious soldiers can be killed off

◇ when the nimble rabbit dies, the hunting dog is cooked

【正解】(1)端〔端的・丹念・鍛錬・探究・生誕〕(2)執筆〔失・湿・執・漆・室〕(3)媒介〔開墾・回避・快癒・誘拐・介護〕(4)顕著〔陰悪・堅実・献身・顕微・儉約〕(5)超克〔深刻・酷似・克明・告訴・国土〕